

新洲本市総合戦略

－ 進捗状況等の評価 －

目次

| | |
|-----------------------|---|
| 1. 事業の進捗評価 | 2 |
| 【進捗状況一覧】 | 4 |
| 2. K P I 達成状況及び改善状況評価 | 7 |
| 【K P I 達成状況及び改善状況一覧】 | 9 |

令和 5 年 1 月

1. 事業の進捗評価

- 「新洲本市総合戦略」では、全部で46の事業が設定されている。
- ここでは、これら46の事業について、進捗状況の評価を行う。

◆進捗状況

◇各事業それぞれの担当課において、当該事業の進捗状況について下記の5段階による評価を行い、その評価に基づき評価点として点数化した。

| 5段階評価 | | | 評価点 |
|-------|---|----------------------|-----|
| 進捗評価 | A | 9割以上は計画どおりに取り組んでいる | 100 |
| | B | 7割程度は取り組んでいる | 70 |
| | C | 5割程度は取り組んでいる | 50 |
| | D | 3割程度しか取り組んでいない | 30 |
| | E | ほとんど取り組んでいない(0~2割程度) | 0 |

- 進捗状況の評価結果を3つの基本戦略別に整理すると次のとおりである。

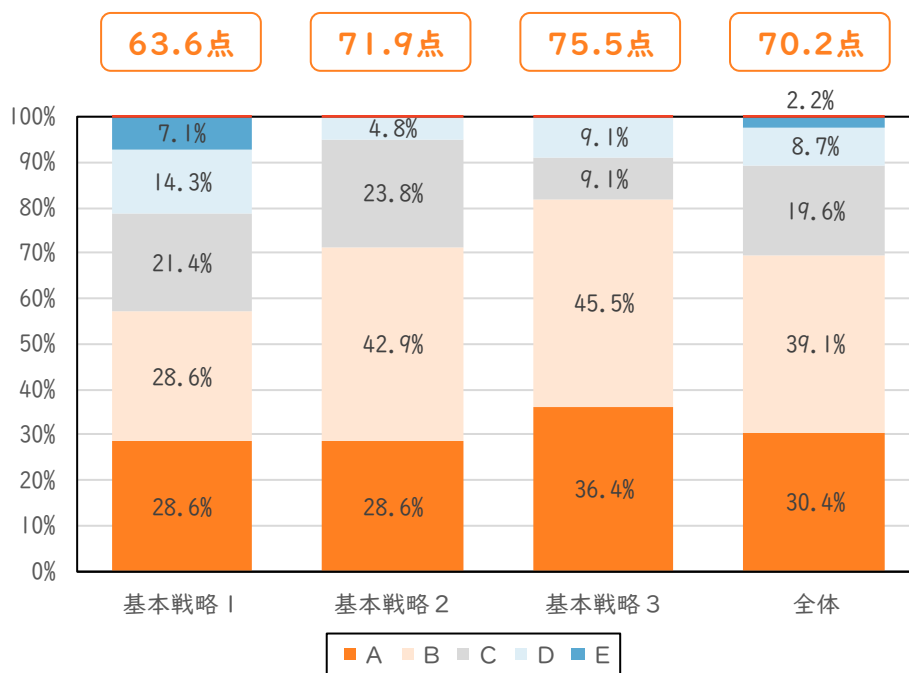
| 基本戦略 | 事業数 | 進捗評価(事業数) | | | | | 総合評価点 |
|--|-----|-----------|----|---|---|---|-------|
| | | A | B | C | D | E | |
| 基本戦略1 洲本の人のあたたかさに触れ、ここに居たい、訪れたいと思う「ひと」を創り育む | 14 | 4 | 4 | 3 | 2 | 1 | 63.6 |
| 基本戦略2 歴史の薫る魅力的でやすらぎのある「わがまち洲本」を創り守る | 21 | 6 | 9 | 5 | 1 | 0 | 71.9 |
| 基本戦略3 女性や若者が夢を抱いて躍動する洲本ならではの「しごと」のステージを創り広げる | 11 | 4 | 5 | 1 | 1 | 0 | 75.5 |
| 新洲本市総合戦略 全体 | 46 | 14 | 18 | 9 | 4 | 1 | 70.2 |

| 基本戦略 | 事業数 | 進捗評価(構成比) | | | | | 総合評価点 |
|--|-----|-----------|-------|-------|-------|------|-------|
| | | A | B | C | D | E | |
| 基本戦略1 洲本の人のあたたかさに触れ、ここに居たい、訪れたいと思う「ひと」を創り育む | 14 | 28.6% | 28.6% | 21.4% | 14.3% | 7.1% | 63.6 |
| 基本戦略2 歴史の薫る魅力的でやすらぎのある「わがまち洲本」を創り守る | 21 | 28.6% | 42.9% | 23.8% | 4.8% | 0.0% | 71.9 |
| 基本戦略3 女性や若者が夢を抱いて躍動する洲本ならではの「しごと」のステージを創り広げる | 11 | 36.4% | 45.5% | 9.1% | 9.1% | 0.0% | 75.5 |
| 新洲本市総合戦略 全体 | 46 | 30.4% | 39.1% | 19.6% | 8.7% | 2.2% | 70.2 |

〈事業の進捗状況〉

○「新洲本市総合戦略」で設定された46事業全体の総合評価点は70.2点で、基本戦略別にみると、“基本戦略3”が75.5点で最も高く、次いで“基本戦略2”が71.9点、“基本戦略1”が63.6点となっている。

事業の進捗状況（5段階評価）



【進捗状況一覧】

| 事業名 | 担当課 | 主な成果 | 進捗評価 | 進捗評価点 |
|--|--------------|---|------|-------|
| 基本戦略1 洲本の人のあたたかさに触れ、ここに居たい、訪れたいと思う「ひと」を創り育む | | | | |
| (1) 都市圏からの移住・定住の促進 | | | | |
| ① 移住・定住促進事業 | 魅力創生課 | オンラインによる移住フェアを実施するとともに、移住イベントへのブースの出展等を行っており、窓口での問い合わせ件数も増加している。 また、2021年度よりすもと新生活スタートアップ支援事業はじめとした各種支援制度を充実させ、移住促進に効果を発揮している。 | B | 70 |
| (2) 「関係人口」の拡充 | | | | |
| ① 域学連携推進事業 | 企画課 | 大学が無い洲本市に都市部大学の知識や人材が集まることで、地域課題の解決、関係人口・交流人口の増加による地域活性化に寄与した。 | A | 100 |
| (3) 観光資源を生かした交流の促進 | | | | |
| ① 観光対策事業 | 商工観光課 | 2021年度に赤レンガ建物群をリノベーションし、S-Brickとして新たに開業。中心市街地に新たな賑わいを創出している。 | B | 70 |
| ② 高田屋嘉兵衛公園を通じた地域活性化 | 農政課 | 整備計画を策定するにあたり、市民・利用者等の意見を整備方針に反映させるため、関係団体へのヒアリング、各種アンケート等によりニーズを把握を行った。 | E | 0 |
| (4) まちの魅力の効果的な情報発信 | | | | |
| ① 洲本市地域おこし協力隊情報発信事業 | 企画課 | 洲本市地域おこし協力隊Facebookページのフォロワー数は順調に増加している。 | A | 100 |
| ② 洲本CATV施設更新事業 | 広報情報課 | CATV施設リニューアルを実施し、全加入世帯を対象にしたFM告知放送端末を整備を行った。 また、CATVインターネットの高速サービスを提供し、加入者数を伸ばしている。 | A | 100 |
| ③ 広報すもとSNS (Instagram) 発信事業 | 広報情報課 | Instagramのフォロワー数を着実に伸ばし、若年層の関心を高めている。 | A | 100 |
| ④ 地域のいいとこ発信事業 | 五色総合事務所地域生活課 | 2020年度～2021年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により開催を中止。 事業見直しにより、2021年度をもって本事業を終了としたが、これまでの活動記録やフォトコンテストの入賞作品等をSNSで紹介することで、過去の記事に対するフォロワー数も増加しており、本市の魅力を発信する手法のひとつとして一定の成果が得られた。 | D | 30 |
| (5) 教育・スポーツの振興 | | | | |
| ① すもとっ子∞塾事業 | 生涯学習課 | 継続して出前講座を希望する学校も出てきており、キャリア教育のモデルケースとして学校に受け入れられてきている。 | C | 50 |
| ② すもとっ子MANABIプロジェクト事業 | 生涯学習課 | オンラインを利用した異文化交流プログラム、キッズスタッフ育成を目的とした複数回プログラムといった新しい取組の実施により、一歩踏み込んだ学習機会を提供することができた。 | C | 50 |
| ③ 科学のふしぎ三島教室事業 | 五色総合事務所地域生活課 | 2020年度～2022年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により開催を中止。 2021年度においては、広報8月号で三島徳七博士等の特集記事を掲載し、博士の功績と自宅で行える工作等について周知を図り、2022年度については参加者等の感染リスクを勘案し、オンラインによる開催も視野に入れた準備を行ったものの、工作作業のフォローや実験内容について十分な対応が困難であることから開催を中止せざるをえなかった。 | D | 30 |
| ④ アスリートネットワークプロジェクト | 生涯学習課 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点などから、2020年度は事業（キッズドリーム）を実施することができず、2021年度は、内容を工夫のうえ、事業を縮小し、実施した。2021年度は、参加者数は少なかったものの、参加者を限定したり、オンラインで開催するなど、子どもの運動能力向上やスポーツなどに関心を寄せるきっかけづくりに寄与した。2022年度は開催内容を工夫しながら、計画どおりの実施を目指し、事業を進めている。 | B | 70 |
| ⑤ ワールドマスターズゲームズ 2021 関西オープン競技「あわじ島ウォーク」 | 生涯学習課 | 2021年度については、WMGのリハーサル大会等として、第4回・第5回の2回のあわじ島ウォークを計画、第4回は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点などから中止とし、第5回は新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、一定の参加者を確保し、実施することができた。2022年度については、本大会は延期となったものの、オープン競技として第6回あわじ島ウォークを開催、過去最大の参加者の中、交流人口の拡大など、一定の成果を得る大会となった。延期後の本大会も見据え、継続した取組について調整を進めている。 | B | 70 |
| ⑥ あわじ島スポーツフェスティバル | 生涯学習課 | 2021年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点などから事業を中止したため、成果は得られなかった。2022年度は予定どおり事業を実施するべく、調整を進めている。 | C | 50 |

| 事業名 | 担当課 | 主な成果 | 評価 | 評価点 |
|--|---------|---|----|-----|
| 基本戦略2 歴史の薫る魅力的でやすらぎのある「わがまち洲本」を創り守る | | | | |
| (1) 妊娠・出産・子育ての支援 | | | | |
| ① 子育てにやさしいまちづくり事業 | 子ども子育て課 | 子育て応援パスポート事業については、地域の方々の協力を得ながら子育て力を高め、安心して子どもを産み育てられる環境を整えるということで事業を実施しており、子育てをめぐる環境が厳しさを増す中で、子育ての不安や経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境を整えるうえで本事業が果たす役割は大きなものとなった。 なお、兵庫県が同様に県内の企業・店舗等の協賛を募り「ひょうご子育て応援の店」事業を実施しており、2016年4月1日からサービス対象地域が兵庫県内、すくすく関西（2府7県）地域に加え、全国でも利用可能となったことを受け、2023年度より県の事業へ移行し、本市の事業は、廃止。今後、県とも連携し、市内の事業者に対し、周知し県事業への参加を促していく。 | C | 50 |
| ② 地域子育て支援拠点事業（にこにこひろば） | 生涯学習課 | コロナ禍で外出制限がかかる中、「にこにこひろば」だけは中止せずに行い、育児不安や親子の孤立を防ぐための役割を果たした。 | A | 100 |
| (2) 健康・福祉・医療の支援 | | | | |
| ① 健康のまちづくり事業 | 健康増進課 | 乳幼児期から高齢期に至る各ライフステージにおいて、全市民を対象とした健康診査や各種健康づくりの取り組みによりライフステージ毎の優先的健康課題の改善に向けた環境づくりを推進することができている。 | A | 100 |
| (3) 元気な高齢者の活躍の機会の推進 | | | | |
| ① すもとっ子MANABIプロジェクト事業【再掲（※但し、KPIを変更）】 | 生涯学習課 | 科学教室、藤手芸教室において、地域の方の豊かな経験や知恵、技術を子どもたちに伝えることで、異世代交流を図ることができた。 | C | 50 |
| ② （続）おやじプロジェクト事業 | 生涯学習課 | コロナ禍により会合は一度しか持てなかったが、今後自らの技能やネットワークを活かし、子どもの健全育成、地域活性化のため活動していくための新組織「すもとベース」を構築することができた。 | D | 30 |
| ③ GENKIすもとサポーター養成事業 | 介護福祉課 | 2020年度は21名、2021年度は26名の市民が講座を受講した。全10回の講座終了後も、勉強会や交流会を開催するなどフォローアップにも努めた。ボランティア等の地域ニーズにつなげていく予定であったが、コロナ禍のため実現できていない状況であるが、環境が整えば実施していく。 | B | 70 |
| (4) 歴史・文化の保存と活用によるまちづくりの推進 | | | | |
| ① 歴史文化遺産活性化事業 | 生涯学習課 | すもと歴史さんばは、コロナ禍で開催できなかったものがあるが、申し込みは募集定員を大きく上回る申し込みがあり、事業の目的を一定程度達成できた。 | B | 70 |
| ② 歴史文化遺産保存事業 | 生涯学習課 | コロナ禍で入館者が落ち込んだが、令和4年度は淡路文化史料館の開館40周年記念特別展を開催し、昨年の7月と比較して倍近い入館者数となっている。 | B | 70 |
| ③ 図書館市民まつり事業 | 生涯学習課 | 市民中心の実行委員会が主体となり、様々な団体が参加し、生涯学習の発表の場となっている。2021年度は花みどりフェアとの連携により、観光客との交流の場を設ける事が出来た。 | C | 50 |
| (5) コミュニティ組織、中間支援団体の育成と支援 | | | | |
| ① つながり基金助成事業 | 企画課 | ともにつくる参画と協働のまちづくりを進め、地域のつながりづくりに資することができた。 | B | 70 |
| ② 防災に携わる組織・人材の強化支援事業 | 消防防災課 | コロナ禍で行動制限がなされる中、毎年度、地元住民や関係機関が参加する総合防災訓練を実施した。 (2020年度:洲本市本庁舎 2021年度:鮎原地区 2022年度:潮地区(予定)) 地域防災力維持のため、老朽化していた安乎分団詰所の建替え工事を行った。 | C | 50 |
| ③ 防犯・交通安全知識啓発事業 | 消防防災課 | 警察署、交通安全協会などの関係機関と連携を密にし、街頭キャンペーンなどの広報活動を行った結果、交通事故死者ゼロ300日を達成することができた。 人身事故については、淡路島内の前年比の増加率よりも低く抑えることができた。 警察署、防犯協会などの関係機関と防犯活動に取り組んだ結果、洲本警察署管内における刑法犯認知件数は、前年より約2割減少することができた。 | B | 70 |
| (6) 防災・減災、安全・安心なまちづくり基盤の整備 | | | | |
| ① 防災に携わる組織・人材の強化支援事業【再掲】 | 消防防災課 | コロナ禍で行動制限がなされる中、毎年度、地元住民や関係機関が参加する総合防災訓練を実施した。 (2020年度:洲本市本庁舎 2021年度:鮎原地区 2022年度:潮地区(予定)) 地域防災力維持のため、老朽化していた安乎分団詰所の建替え工事を行った。 | C | 50 |
| ② 防犯・交通安全知識啓発事業【再掲】 | 消防防災課 | 警察署、交通安全協会などの関係機関と連携を密にし、街頭キャンペーンなどの広報活動を行った結果、交通事故死者ゼロ300日を達成することができた。 人身事故については、淡路島内の前年比の増加率よりも低く抑えることができた。 警察署、防犯協会などの関係機関と防犯活動に取り組んだ結果、洲本警察署管内における刑法犯認知件数は、前年より約2割減少することができた。 | B | 70 |
| ③ ため池整備事業 | 農地整備課 | ため池下流域の安全、安心を確保し、地域農業の安定した生産活動を確保することができた。 | B | 70 |
| ④ 耐震化促進事業 | 都市計画課 | 耐震改修計画の策定、耐震改修工事の実施及び建替工事の実施等による地震被害の軽減 | A | 100 |
| ⑤ 老朽危険空き家除却支援事業 | 都市計画課 | 危険空き家の除却による安全な住環境の確保 | B | 70 |
| (7) 環境意識の向上の推進 | | | | |
| ① 洲本市 25%ごみ減量化作戦 | 生活環境課 | 使用済み小型家電及び古着類の回収品目拡大、食器類の無料回収、生ごみ減量化機器の購入助成金拡充、リサイクルポイント制度の導入 | A | 100 |
| ② 環境学習推進事業 | 生活環境課 | 環境学習（年2回程度）、市内小学校からの施設見学受入れ（年5校程度）、すもてなぶる（年2回）、ドライブスルーでリサイクル・リユース（年2回） | A | 100 |
| (8) 淡路島全体で考える未来の公共交通システムの構築と交通ネットワークの充実 | | | | |
| ① 暮らしと交流を支える持続可能な公共交通サービス推進事業 | 企画課 | 新型コロナウイルス感染症の拡大により当初目標値と実績は乖離しているが、公共交通網の維持、確保は着実に実施している。 | A | 100 |
| (9) 市域を超えた広域連携による新たな行政運営の推進 | | | | |
| ① 淡路島定住自立圏の推進 | 企画課 | 各事業での個別の目標においては、県の事業が縮小されたもの、またコロナ禍によりイベント等が実施できなかったものがあるが、その中でも各種事業に対しては各市が連携して取り組んでいる。 | B | 70 |

| 事業名 | 担当課 | 主な成果 | 評価 | 評価点 |
|---|-------|---|----|-----|
| 基本戦略3 女性や若者が夢を抱いて躍動する洲本ならではの「しごと」のステージを創り広げる | | | | |
| (1) 農業生産基盤の整備 | | | | |
| ① 農業基盤整備事業 | 農地整備課 | 地元との協議が整い、2022年度の地形図作成業務に着手できた。 | A | 100 |
| ② ため池整備事業【再掲】 | 農地整備課 | ため池下流域の安全、安心を確保し、地域農業の安定した生産活動を確保することができた。 | B | 70 |
| ③ 広域農道整備事業 | 農地整備課 | 事業は用地買収も終わり着実に進んでいるが、指標の供用率については、交差する市道が無いため、令和7年度に一括で未供用区間の開通予定。 | A | 100 |
| (2) 新規就農者支援による担い手の確保 | | | | |
| ① 新規就農者や集落営農組織を含む農業の担い手確保事業 | 農政課 | 就農希望者・後継者等を対象とした就農相談会の定期的な開催、集落営農研修会を開催するなど、担い手の確保や営農についての意識を高める機会を準備することで、農業従事者の急激な減少などに歯止めをかけている。 | D | 30 |
| (3) 畜産振興の推進 | | | | |
| ① 畜産業の振興 | 農政課 | 国事業、県事業を活用し、繁殖用雌牛の導入への補助、規模拡大を図る畜産農家へ牛舎等の施設整備に対する支援を行い、一部農家は大幅な増頭を達成した。 | B | 70 |
| (4) 水産業の振興 | | | | |
| ① 鳥飼漁港物揚場及び漁港道路整備事業 | 林務水産課 | 公有水面埋立免許出願、実施設計完了。2022年度工事完了予定。 | A | 100 |
| (5) 地域企業への就業促進 | | | | |
| ① 元気な商店街づくり事業 | 商工観光課 | 地域の子供や大人も楽しめる商店街をからめたイベントを実施し一定の集客効果があった。 | B | 70 |
| ② 御食国プロジェクト推進事業 | 商工観光課 | 同プロジェクトに賛同いただき、新たな商品開発につながった。 | C | 50 |
| (6) 起業・創業の支援 | | | | |
| ① 起業支援事業 | 商工観光課 | コロナ下においても市内における起業マインドが停滞することなく、実績は順調に伸びている。また、依然、女性の起業は多いがシニア男性の起業も出てきている。 | A | 100 |
| ② 域学連携を通じた起業・創業支援 | 企画課 | 域学連携によって得られた知見や成果を、起業や創業のかたちで社会実装することができている。 | B | 70 |
| (7) 企業誘致の促進 | | | | |
| ① 企業立地促進事業 | 魅力創生課 | 市有企業用地を活用した企業誘致を行った。 また、2021年度より高速道路渡橋料金補助を行い、支援の拡充を図っている。 | B | 70 |

2. KPI達成状況及び改善状況評価

○「新洲本市総合戦略」では、全部で54のKPI(重要業績評価指標)が設定され、それぞれのKPIについて2020年度から2022年度の各年度の目標値が設定されている。

○ここでは、これら54のKPIについて、次の2つの視点からの評価を行う。

◆KPI目標値達成状況

◇各年度の目標値に対して当該年度の実績(見込)値がこれを“達成”しているかどうかという視点。

◇54のKPIは、すべて基本的に増加が望ましい指標となっているため、実績値が目標値と同じまたはこれを上回っている場合に“達成”とみなす。

◆KPI実績値改善状況

◇各年度の実績値がその前年度の実績値に対して、“改善”しているかどうかという視点。

◇54のKPIは、すべて基本的に増加が望ましい指標となっているため、実績値が前年度を上回っている場合や目標値を達成している水準で実績値を維持している場合に“改善”とみなす。

○こうした2つの視点からの評価結果は次のとおりである。

| KPIの評価 | KPI数 | KPI目標値達成数 | | | KPI実績値改善数 | | |
|--|------|-----------|------|------|-----------|------|------|
| | | 2020 | 2021 | 2022 | 2020 | 2021 | 2022 |
| 基本戦略1 洲本の人のあたたかさに触れ、ここに居たい、訪れたいと思う「ひと」を創り育む | 16 | 5 | 5 | 4 | 7 | 11 | 12 |
| 基本戦略2 歴史の薫る魅力的でやすらぎのある「わがまち洲本」を創り守る | 25 | 10 | 5 | 5 | 7 | 10 | 13 |
| 基本戦略3 女性や若者が夢を抱いて躍動する洲本ならではの「しごと」のステージを創り広げる | 13 | 6 | 7 | 7 | 6 | 7 | 10 |
| 新洲本市総合戦略 全体 | 54 | 21 | 17 | 16 | 20 | 28 | 35 |

| KPIの評価 | KPI数 | KPI目標値達成率 | | | KPI実績値改善率 | | |
|--|------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|
| | | 2020 | 2021 | 2022 | 2020 | 2021 | 2022 |
| 基本戦略1 洲本の人のあたたかさに触れ、ここに居たい、訪れたいと思う「ひと」を創り育む | 16 | 31.3% | 31.3% | 25.0% | 43.8% | 68.8% | 75.0% |
| 基本戦略2 歴史の薫る魅力的でやすらぎのある「わがまち洲本」を創り守る | 25 | 40.0% | 20.0% | 20.0% | 28.0% | 40.0% | 52.0% |
| 基本戦略3 女性や若者が夢を抱いて躍動する洲本ならではの「しごと」のステージを創り広げる | 13 | 46.2% | 53.8% | 53.8% | 46.2% | 53.8% | 76.9% |
| 新洲本市総合戦略 全体 | 54 | 38.9% | 31.5% | 29.6% | 37.0% | 51.9% | 64.8% |

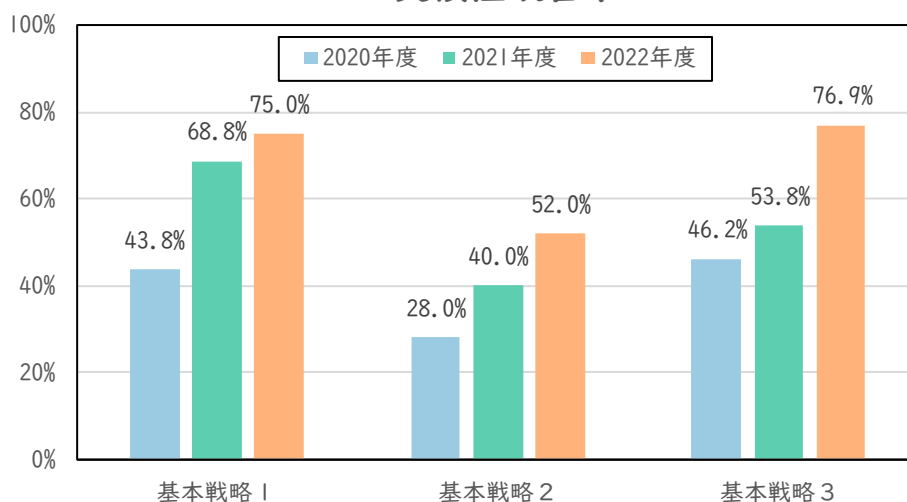
〈KPI目標達成状況〉

- KPI目標達成状況については、54のKPIのうち、2022年度の達成数が16で達成率は29.6%、2020年度、2021年度についても30%台であり、総じてあまり高い達成率とは言えない状況である。
- しかしながら、この期間は新型コロナウイルス感染症の影響により社会状況が大きく変化した期間でもあり、KPIの達成状況にもかなりの影響を与えたものと考えられる。
- なお、2022年度について基本戦略別にみると、“基本戦略1”“基本戦略2”の達成率が20～25%程度であるのに対して、“基本戦略3”の達成率は53.8%と比較的高い状況である。
- 目標値を設定し、その達成を目指すことは極めて重要であるが、その達成の有無は設定される目標値の高低に大きく影響されることにも留意する必要がある。

〈KPI実績値改善状況〉

- KPI実績値改善状況について改善率でみると、2020年度が37.0%、2021年度が51.9%、そして2022年度は64.8%となっており、目標値には達していないKPIを含め、さまざまな取組を通じてKPIの実績値は着実に改善されている状況であることがわかる。
- 2022年度について基本戦略別にみると、“基本戦略2”の改善率52.0%であるのに対して、“基本戦略1”は75.0%、“基本戦略3”は76.9%と高い水準となっている。

KPI実績値改善率



- 上述のとおり、目標達成率は設定された目標値の高低に左右されるが、目標値の高低に左右されない“改善”の有無という視点からみた改善率では、「新洲本市総合戦略」を通じた取組が一定の成果を挙げていると言える。

【KPI達成状況及び改善状況一覧】

【実績(見込)の変化状況欄の見方について】

◇実績値が当該年度の目標値に達している場合はセルが橙色表示。

◇実績値が前年度に比べて増加している場合は矢印が上向き、減少している場合は下向き、変化がない(維持している)場合は横向き。

◇実績値の前年度に対する変化が望ましい(改善の)方向性である場合(増加目標に対して実績値が増加している場合や目標値を達成している水準で実績値を維持している場合など)は矢印が赤色表示。

| 事業名 | KPI | | 2019 | 2020 | | 2021 | | 2022 | | 実績(見込)の変化状況 | | |
|--|-------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------------|------|------|
| | | | 基準値 | 目標値 | 実績 | 目標値 | 実績 | 目標値 | 実績・見込 | 2020 | 2021 | 2022 |
| 基本戦略1 洲本の人のあたたかさに触れ、ここに居たい、訪れたいと思う「ひと」を創り育む | | | | | | | | | | | | |
| (1) 都市圏からの移住・定住の促進 | | | | | | | | | | | | |
| ① 移住・定住促進事業 | 空き家バンク及び空き家改修支援制度を活用した移住・定住者数 | (人)累計 | 17 | 20 | 18 | 40 | 35 | 60 | 40 | ↑ | ↑ | ↑ |
| (2) 「関係人口」の拡充 | | | | | | | | | | | | |
| ① 域学連携推進事業 | 地域団体と大学との連携プロジェクト数 | (件)累計 | 7 | 7 | 9 | 8 | 9 | 8 | 10 | ↑ | → | ↑ |
| (3) 観光資源を生かした交流の促進 | | | | | | | | | | | | |
| ① 観光対策事業 | 総入込客数及びまつり人出数 | (千人)単年 | 1,295 | 1,260 | 658 | 1,325 | 804 | 1,305 | 900 | ↓ | ↑ | ↑ |
| ② 高田屋嘉兵衛公園を通した地域活性化 | 高田屋顕彰館・歴史文化資料館の入館者数 | (人)累計 | 3,689 | 5,500 | 2,367 | 6,000 | 2,762 | 10,000 | 3,000 | ↓ | ↑ | ↑ |
| (4) まちの魅力の効果的な情報発信 | | | | | | | | | | | | |
| ① 洲本市地域おこし協力隊情報発信事業 | 洲本市地域おこし協力隊Facebookページのフォロワー数 | (人)累計 | 1,875 | 1,900 | 2,040 | 1,950 | 2,400 | 2,000 | 2,600 | ↑ | ↑ | ↑ |
| ② 洲本CATV施設更新事業 | CATV加入者数 | (人)累計 | 17,616 | 17,800 | 17,462 | 17,800 | 17,409 | 17,800 | 17,370 | ↓ | ↓ | ↓ |
| | インターネット加入者数 | (人)累計 | 3,062 | 3,065 | 3,261 | 3,085 | 3,491 | 3,100 | 3,550 | ↑ | ↑ | ↑ |
| ③ 広報すもとSNS (Instagram) 発信事業 | Instagramのフォロワー数 | (人)累計 | 250 | 1,000 | 1,000 | 1,500 | 1,614 | 2,000 | 2,050 | ↑ | ↑ | ↑ |
| ④ 地域のいいとこ発信事業 | すもとのいいとこ発信事業：SNS フォロワー数 | (人)累計 | 298 | 300 | 350 | 350 | 500 | 400 | - | ↑ | ↑ | - |
| | フォトコンテスト：応募者数 | (人)累計 | 39 | 45 | 36 | 50 | - | 55 | - | ↓ | - | - |
| (5) 教育・スポーツの振興 | | | | | | | | | | | | |
| ① すもとっ子∞塾事業 | 中学生と大学生との交流機会(出前講座)の開催校数 | (校)累計 | 3 | 5 | 2 | 5 | 2 | 5 | 3 | ↓ | → | ↑ |
| ② すもとっ子MANABIプロジェクト事業 | 参加人数 | (人)単年 | 650 | 700 | 329 | 750 | 355 | 800 | 660 | ↓ | ↑ | ↑ |
| ③ 科学のふしぎ三島教室事業 | 参加者のアンケート満足度 | (%)単年 | 92 | 93 | - | 94 | - | 95 | - | - | - | - |
| ④ アスリートネットワークプロジェクト | 参加人数 | (人)単年 | 500 | 600 | 0 | 800 | 106 | 1,000 | 200 | ↓ | ↑ | ↑ |
| ⑤ ワールドマスターズゲームズ2021 関西オープン競技「あわじ島ウォーク」 | 参加人数 | (人)単年 | 200 | 400 | 203 | 800 | 210 | 1,000 | 369 | ↑ | ↑ | ↑ |
| ⑥ あわじ島スポーツフェスティバル | 参加人数 | (人)単年 | 600 | 700 | 0 | 800 | 0 | 900 | 500 | ↓ | → | ↑ |

| 事業名 | KPI | | 2019 | 2020 | | 2021 | | 2022 | | 実績(見込)の変化状況 | | | |
|--|-------------------------------------|----------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|-------------|------|------|---|
| | | | 基準値 | 目標値 | 実績 | 目標値 | 実績 | 目標値 | 実績・見込 | 2020 | 2021 | 2022 | |
| 基本戦略2 歴史の薫る魅力的でやすらぎのある「わがまち洲本」を創り守る | | | | | | | | | | | | | |
| (1) 妊娠・出産・子育ての支援 | | | | | | | | | | | | | |
| ① 子育てにやさしいまちづくり事業 | 子育て支援協賛店舗数 | (店)累計 | 35 | 50 | 35 | 60 | 31 | 70 | 31 | → | → | → | |
| ② 地域子育て支援拠点事業(こここひろば) | 参加人数 | (人)単年 | 9,800 | 10,000 | 8,132 | 10,000 | 9,147 | 10,000 | 9,300 | → | ↑ | ↑ | |
| (2) 健康・福祉・医療の支援 | | | | | | | | | | | | | |
| ① 健康のまちづくり事業 | 乳幼児健康診査受診率など(歯科検診、がん検診など含む) | 4か月 | (%)単年 | 95.4 | 96.5 | 96.9 | 96.5 | 98.1 | 96.5 | 96.6 | ↑ | ↑ | → |
| | | 1歳6か月 | (%)単年 | 97.2 | 96.5 | 97.3 | 96.5 | 95.2 | 96.5 | 97.5 | ↑ | → | ↑ |
| | | 3歳 | (%)単年 | 95.2 | 96.5 | 96.6 | 96.5 | 97.3 | 96.5 | 93.5 | ↑ | ↑ | → |
| (3) 元気な高齢者の活躍の機会の推進 | | | | | | | | | | | | | |
| ① すもっ子MANABIプロジェクト事業【再掲(※但し、KPIを変更)】 | 地域の指導者数 | (人)単年 | 30 | 35 | 2 | 40 | 6 | 45 | 10 | → | ↑ | ↑ | |
| ② (続) おやじプロジェクト事業 | おやじを軸とした参加世帯数 | (世帯)単年 | 65 | 70 | 12 | 75 | 9 | 80 | 30 | → | → | ↑ | |
| ③ GENKI すもっ子サポーター養成事業 | サポーター養成講座への参加者数(年間延べ人数) | (人)単年 | - | 120 | 179 | 150 | 180 | 180 | 160 | - | ↑ | → | |
| (4) 歴史・文化の保存と活用によるまちづくりの推進 | | | | | | | | | | | | | |
| ① 歴史文化遺産活性化事業 | 参加者数 | (人)単年 | 150 | 165 | 149 | 180 | 84 | 200 | 150 | → | → | ↑ | |
| ② 歴史文化遺産保存事業 | 淡路文化史料館の入館者数 | (人)単年 | 5,000 | 5,250 | 3,813 | 5,500 | 4,327 | 5,750 | 5,700 | → | ↑ | ↑ | |
| ③ 図書館市民まつり事業 | 参加人数 | (人)単年 | 5,000 | 5,500 | 0 | 6,000 | 3,485 | 6,500 | 4,000 | → | ↑ | ↑ | |
| (5) コミュニティ組織、中間支援団体の育成と支援 | | | | | | | | | | | | | |
| ① つながり基金助成事業 | つながり基金活用による自主活動件数 | (件)単年 | 38 | 38 | 44 | 39 | 36 | 40 | 38 | ↑ | → | ↑ | |
| ② 防災に携わる組織・人材の強化支援事業 | 消防団員数の維持(R2年1月1日実数10人減以内) | (人)単年 | 933 | 923 | 926 | 923 | 911 | 923 | 893 | → | → | → | |
| | 防災訓練、防災学習会(出前講座)の実施地域数 | (地域)単年 | 72 | 82 | 18 | 92 | 37 | 102 | 20 | → | ↑ | → | |
| ③ 防犯・交通安全知識啓発事業 | 防犯・交通安全知識の啓蒙・啓発・広報活動等の件数 | (回)単年 | 246 | 250 | 206 | 260 | 202 | 270 | 240 | → | → | ↑ | |
| (6) 防災・減災、安全・安心なまちづくり基盤の整備 | | | | | | | | | | | | | |
| ① 防災に携わる組織・人材の強化支援事業【再掲】 | 消防団員数の維持(R2年1月1日実数10人減以内) | (人)単年 | 933 | 923 | 926 | 923 | 911 | 923 | 893 | → | → | → | |
| | 防災訓練、防災学習会(出前講座)の実施地域数 | (地域)単年 | 72 | 82 | 18 | 92 | 37 | 102 | 20 | → | ↑ | → | |
| ② 防犯・交通安全知識啓発事業【再掲】 | 防犯・交通安全知識の啓蒙・啓発・広報活動等の件数 | (回)単年 | 246 | 250 | 206 | 260 | 202 | 270 | 240 | → | → | ↑ | |
| ③ ため池整備事業 | ため池改修箇所数 | (箇所)累計 | 21 | 26 | 24 | 28 | 24 | 30 | 26 | ↑ | → | ↑ | |
| ④ 耐震化促進事業 | 耐震化戸数 | (戸)単年 | 5 | 5 | 10 | 5 | 3 | 6 | 3 | ↑ | → | → | |
| ⑤ 老朽危険空き家除却支援事業 | 危険空き家の除去軒数 | (軒)単年 | 5 | 5 | 4 | 5 | 3 | 6 | 6 | → | → | ↑ | |
| (7) 環境意識の向上の推進 | | | | | | | | | | | | | |
| ① 洲本市 25%ごみ減量化作戦 | 市民ひとりが1日あたりに排出する家庭ごみの量を県平均値以下に減少させる | (g/人日)単年 | 542 | 528 | 563 | 514 | 545 | 500 | 530 | ↑ | → | → | |
| ② 環境学習推進事業 | 参加人数 | (人)単年 | 600 | 600 | 125 | 600 | 907 | 600 | 1,000 | → | ↑ | ↑ | |
| (8) 淡路島全体で考える未来の公共交通システムの構築と交通ネットワークの充実 | | | | | | | | | | | | | |
| ① 暮らしと交流を支える持続可能な公共交通サービス推進事業 | 地域公共交通(路線バス・コミバス)利用者数 | (千人)単年 | 517 | 513 | 376 | 509 | 325 | 505 | - | → | → | - | |
| (9) 市域を超えた広域連携による新たな行政運営の推進 | | | | | | | | | | | | | |
| ① 淡路島定住自立圏の推進 | 定住自立圏構想対象実施事業数 | (事業)累計 | 17 | 17 | 17 | 18 | 17 | 18 | 17 | → | → | → | |

| 事業名 | KPI | | 2019 | 2020 | | 2021 | | 2022 | | 実績(見込)の変化状況 | | |
|---|------------------------------|---------|--------------|------|----|------|----|------|-------|-------------|------|------|
| | | | 基準値 | 目標値 | 実績 | 目標値 | 実績 | 目標値 | 実績・見込 | 2020 | 2021 | 2022 |
| 基本戦略3 女性や若者が夢を抱いて躍動する洲本ならではの「しごと」のステージを創り広げる | | | | | | | | | | | | |
| (1) 農業生産基盤の整備 | | | | | | | | | | | | |
| ① 農業基盤整備事業 | 新規整備地区数(地形図作成レベル) | (地区)累計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | → | ↗ | → |
| ② ため池整備事業【再掲】 | ため池改修箇所数 | (箇所)累計 | 21 | 26 | 24 | 28 | 24 | 30 | 26 | ↘ | → | ↗ |
| ③ 広域農道整備事業 | 農道供用率 | (%)累計 | 51 | 51 | 51 | 74 | 89 | 100 | 89 | → | ↗ | → |
| (2) 新規就農者支援による担い手の確保 | | | | | | | | | | | | |
| ① 新規就農者や集落営農組織を含む農業の担い手確保事業 | 農業体験者及び農業研修生の受け入れ人数 | (人)単年 | 8 (1月末現在) | 8 | 4 | 9 | 3 | 10 | 5 | ↘ | ↘ | ↗ |
| (3) 畜産振興の推進 | | | | | | | | | | | | |
| ① 畜産業の振興 | 一戸あたりの繁殖雌牛飼養頭数 | (頭/戸)単年 | 8.4 | 10 | 10 | 10 | 8 | 11 | 9 | ↗ | ↘ | ↗ |
| (4) 水産業の振興 | | | | | | | | | | | | |
| ① 鳥飼漁港物揚場及び漁港道路整備事業 | 五色町漁業協同組合員の漁港に係る満足度(アンケート調査) | (%)単年 | - | 30 | 3 | 30 | 67 | 90 | 90 | - | ↗ | ↗ |
| (5) 地域企業への就業促進 | | | | | | | | | | | | |
| ① 元気な商店街づくり事業 | 商店街でのイベント回数 | (回)単年 | 5 | 5 | 3 | 5 | 5 | 5 | 5 | ↘ | ↗ | → |
| | 商店街での集客数 | (万人)単年 | 3 | 3 | 3 | 3 | 1 | 3 | 1 | → | ↘ | → |
| ② 御食国プロジェクト推進事業 | 御食国プロジェクトの参加店舗数 | (店舗)累計 | 63 | 65 | 32 | 66 | 31 | 67 | 31 | ↘ | ↘ | → |
| (6) 起業・創業の支援 | | | | | | | | | | | | |
| ① 起業支援事業 | 起業・創業者数 | (人)単年 | 9 | 9 | 17 | 10 | 27 | 10 | 31 | ↗ | ↗ | ↗ |
| ② 域学連携を通じた起業・創業支援 | 域学連携の成果を生かした起業・創業者数 | (件)累計 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 | 4 | 5 | ↗ | → | ↗ |
| (7) 企業誘致の促進 | | | | | | | | | | | | |
| ① 企業立地促進事業 | 企業立地支援制度を活用した企業件数 | (件)単年 | 2 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 2 | ↘ | → | ↗ |
| | うち市有企業用地の売却成約件数 | (件)単年 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | → | ↗ | → |

3. 第3期洲本市総合戦略に向けた総評

- 新洲本市総合戦略における事業の進捗及びKPIの達成状況・改善状況については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、100%達成している事業は少ない結果となった。
- その中でも、デジタル技術を活用しオンラインでイベントを開催するなど、新たな形に対応したことによって進捗状況等は改善されている。
- 子育てや健康、防災や交通、環境といった、社会活動を持続していくための事業の進捗は比較的順調であるため、SDGs推進の一環としても継続して行っていく。
- 第一次産業においては、基盤整備や漁港整備などのハード事業は順調に進捗しており、今後は大規模化や担い手の確保などソフト事業を強化していく必要がある。
- 他の産業においては、起業支援事業を活用した起業・創業者数が目標値を大幅に上回っており（目標 10、R4 見込 31）、引き続き新たなチャレンジを支援し、「しごと」の選択肢、魅力的な職場を増やしていく。また、サテライトオフィスやコワーキングスペースの整備により、テレワークなどの場所や時間に捕らわれない新たな働き方や「転職なき移住」を推進していく。
- これらを踏まえ、第3期総合戦略に以下の事業を新たに位置づけることとする。

- ◆デジタルワンストップ窓口事業
- ◆基幹系システム標準化・共通化事業
- ◆ICT 活用による相談・保健指導事業
- ◆待機児童対策の推進
- ◆生涯学習人材バンク
- ◆再生可能エネルギー資源を活かしたエネルギー事業の創出
- ◆持続可能なまちづくりのための公民連携事業